

平成 26 年 10 月 14 日

株式会社三菱東京 UFJ 銀行

ブラジル国立経済社会開発銀行との業務提携に関する覚書締結について

株式会社三菱東京 UFJ 銀行(頭取 ^{ひらの のぶゆき} 平野 信行)及び当行の全額出資子会社であるブラジル三菱東京 UFJ 銀行は、10 月 11 日付で、ブラジル連邦共和国(以下ブラジル)の政府系開発銀行であるブラジル国立経済社会開発銀行(Banco Nacional de Desenvolvimento Econômico e Social、以下 BNDES)との間で、ブラジル及び日本における幅広い金融サービス分野についての相互支援を目的とした包括的な業務提携に関する覚書を締結いたしました。

BNDES は、1952 年にブラジル連邦政府の全額出資により設立され、現地通貨レアルで長期融資を実施している金融機関としては同国最大となります。同国経済の持続的発展に重要な役割を担いつつ、ブラジルにおけるほぼ全ての開発事業投資に参画しており、日本・ブラジル両国での協働が見込まれる造船やインフラプロジェクト・農業・鉱物資源・エネルギー等の分野において重要な存在です。

ブラジルは約 2 億人の人口を抱え、世界第 7 位の経済力を有するなど、巨大な経済発展の可能性を持つ国です。鉱物資源や農産物分野にて世界で重要な位置づけにあるとともに、近年の貧困層減少と中流階級層拡大に伴う旺盛な国内需要に支えられ、中長期的にも安定的な経済成長が見込まれています。

三菱東京 UFJ 銀行は、1919 年に前身である横浜正金銀行がリオ・デ・ジャネイロに支店を開設して以降、現在ではブラジル三菱東京 UFJ 銀行を設立し、ブラジルで多様なサービスを提供しております。当行は、本覚書締結によりブラジル投資を検討している日系企業への支援を一層強化するとともに、BNDES とのセミナーの共同開催などを通じたサービスの拡充により、お客様の多様なニーズにお応えしてまいります。

以上